

防衛大臣 岸 信夫 殿

馬毛島への自衛隊基地整備に関する
住民の不安解消を求める要望書

鹿児島県西之表市

馬毛島関連予算の閣議決定、日米安全保障協議委員会の共同発表により、西之表市に属する馬毛島への基地整備を決定した旨、防衛省から説明を受けました。

地元住民が、この基地整備による影響を我が事として考えるための材料は、いまだ十分ではないと考えていますが、この問題が新たな段階に進んでいるものと捉えています。

そこで、住民の不安を解消すべく、今回、地域住民から直接意見を聴取しました。

概要を申しますと、期待する声としては、主に、商工業などの産業界から、整備工事による仕事や雇用の増、再編交付金による課題の解決や、自衛隊員の居住による人口増など、経済的効果に期待する声が多数あがりました。

また、再編交付金の有効活用により、将来世代が安定的に、安心して生活できる雇用・労働環境の礎をつくり、市の発展をめざしたいという意欲がうかがえました。

現今の国際情勢をめぐる状況から、安全保障、国防へ貢献したい旨の発言と同時に、本市の有利に進むよう、国と協議する場を求める意見も聞かれたところです。

不安を訴える声としては、将来的な軍事拠点化、有事の際の攻撃対象となること、漁場の喪失により生活の糧を失うこと、自然・文化・歴史的な資源をなくすことに不安を抱く意見が寄せられました。

また、福祉分野など、高齢者や障がいのある人、それを支える人たちから、騒音などにより静穏な日常が変化すること、睡眠への影響等、体調の変化を危惧する訴えもありました。

断固反対を貫いて欲しいという要望のある一方で、基地ができるのなら、将来にわたり、住民の安心安全を担保するための国との協議を望む声もありました。

安全保障については、国の専管事項であり、重要な課題であると認識しています。一方で、離島の自治体である本市としては、市民の声も踏まえると、地元住民が安心して安全な暮らしができるようにすることが大切であると考えますし、住民もそのように望んでいます。

国が整備を図る馬毛島の自衛隊基地は、陸・海・空自衛隊のみならず米軍による訓練に使用されることから、騒音問題や事件・事故、環境問題など地元住民の安心・安全な生活への懸念があります。こうした住民の不安解消につながる安心・安全対策について目に見える形で措置することが必要だと思います。

そこで、施設整備に関し、国と地元住民の考えを整合させるため、また、地元住民への透明性確保の観点から、国と西之表市との協議の場の設置を要望いたします。

また、過去10年以上にわたって続いている地元住民の不安解消や地域振興のため、施設整備に際し、馬毛島が存する西之表市への再編交付金等の交付や隊員の居住等についても、特段の配慮を要望します。

地域住民の声をご理解のうえ、防衛大臣の前向きな回答を期待いたします。

令和4年2月3日

西之表市長 八板 俊輔